

		H30.2 実施 茨木市立西河原小学校 学校教育自己診断 児童 実施結果									
		1, 2, 3年		4, 5, 6年		全児童		前年度 3,4,5,6年児			
		肯定的な 回答の 割合	否定的な 回答の 割合	肯定的な 回答の 割合	否定的な 回答の 割合	肯定的な 回答の 割合	否定的な 回答の 割合	肯定的な 回答の 割合	否定的な 回答の 割合		
1	あいさつをすることができる。	99%	1%	95%	5%	97%	3%	96%	4%	良好です。あいさつ運動などの取り組みが習慣として身についています。	
2	しっかり話を聞くことができる。	90%	10%	84%	16%	87%	13%	86%	14%	良好です。話の意図を理解しようと聞けるよう「話すこと・聞くこと」への取り組みを今後も続けています。	
3	ともだちと仲良くしている。	99%	1%	96%	4%	97%	3%	94%	6%	良好です。小さなトラブルは日常的にあります、その都度、問題解決をし、仲良くできているという意識を持っています。	
4	ともだちを大切にしている。	96%	4%	93%	7%	94%	6%	—	—	特別の教科「道徳」等を通し、ともだちとのより良い関係づくりを進めます。	
5	学校では何事にもあきらめずに頑張るようにしている。	88%	12%	78%	22%	83%	17%	—	—	普段の学習活動や集団での行動、行事、委員会活動や係仕事などを通して物事に粘り強く取り組む意欲を育みます。	
6	学校でのルールを守るようにしている。	92%	8%	87%	13%	89%	11%	—	—	100%を目指す上で、やや課題の残る結果です。特別の教科「道徳」等を通し、自由を大切に、自律や責任を大切にすることを育みます。	
7	夢や目標をもっている。	88%	12%	83%	17%	85%	15%	83%	17%	キャリア教育やゲストティーチャーなどとの出会いを通し、キャリア形成・仕事への関心、夢に対する意欲を高める活動に取り組みます。	
8	地域行事に参加することがある。	81%	19%	89%	11%	85%	15%	77%	23%	地域行事への参加率は全国学力学習状況調査の平均値より非常に高い数字になっています。今後も業務改善等の中ではありますが、地域の取組みに学校も協力し、参加者数等を向上に協力していきます。そして奉仕の心などを育てていきたいと思います。	
9	先生は私たちの話を聞いてくれる。	98%	2%	91%	9%	94%	6%	92%	8%	今後も業務改善等に取り組み、児童と向き合う時間を確保していきます。	
10	先生にはいろいろなことを相談できる。	88%	12%	67%	33%	77%	23%	72%	28%	高学年で課題の残る結果となりました。児童の関係性の複雑化により、多様な要因によりいじめ事象等につながるケースが生じています。日頃の学校生活から、しっかり児童に寄り添い、信頼関係を構築していきます。そして変化などに気づき、課題解決と一緒に考えることができるように取り組んでいきます。	
11	先生は、いじめなど私たちが困っていることについていっしょに考えてくれる。	99%	1%	79%	21%	88%	12%	82%	18%	昨年度を上回りました。中学年から高学年にかけて児童間のトラブルが複雑化するが、教員が敏感に問題に気づき、教員同士で連携協力して解決に向け児童と向き合っていきます。	
12	先生は、がんばったことをほめてくれる。	99%	1%	88%	12%	93%	7%	83%	17%	良好です。高学年にやや課題がみられましたが、発達段階に応じたほめ方を工夫していきます。	
13	先生は教えるときコンピューターやテレビ、ホワイトボードなどを使って工夫をしている。	98%	2%	91%	9%	94%	6%	91%	9%	良好です。引き続き授業の工夫・改善など研究を重ね、授業力向上に取り組めます。	
14	授業ではめあてを確認して、最後にはふりかえりやまとめをする。	98%	2%	90%	10%	94%	6%	91%	9%	良好です。めあてやふりかえりは学校全体で取り組みが進んでいます。	
15	授業では自分で考える時間がある。	92%	8%	97%	3%	95%	5%	94%	6%	良好です。主体的・対話的で深い学びになるよう、ペアやグループ学習、ツールを活用した学び、問題解決学習を進める過程で自力解決の時間をしっかり確保しています。	
16	授業ではほかのひとと考えを話したり、考えを発表したりすることがある。	96%	4%	87%	13%	91%	9%	88%	12%	良好です。主体的・対話的で深い学びになるよう、ペアやグループ学習、ツール(ホワイトボード等)を活用した学び、問題解決学習を進めています。	
17	授業でわからないときに、ペアやグループで相談したり、先生に質問したりしやすい。	92%	8%	84%	16%	88%	12%	80%	20%	昨年度を8%上回り改善されてきている。他者との関わりの中で学ぶことが今後すべての教科で求められています。ペアやグループ学習でのお互いの意見交換や質問等は定着してきたため、100%目指して取り組んでいきます。	
18	「あゆみ」を見て自分の学習の様子がよくわかる。	92%	8%	90%	10%	91%	9%	84%	16%	良好です。あゆみの見方や評価方法については、次年度へ向けて工夫改善を進めています。	
19	命の大切さや学校や社会のきまりなどについて学んでいる。	91%	9%	89%	11%	90%	10%	86%	14%	良好です。生活ルールや学習規律については年間を通して粘り強く指導しています。命の大切さについても学校全体で取り組んでいます。	
20	自分を大切にすることや、ともだちや他人への思いやりについて学んでいる。	89%	11%	91%	9%	90%	10%	89%	11%	良好です。学級集団づくり、人権教育を通して自尊感情を高めるとともに、ともだちと認め合える集団づくりを進めます。また、係活動や委員会活動を通し、集団内における自己有用感高めていきます。	
21	地震や火災などが起こったとき、どうしたらよいか教えてもらっている。	97%	3%	93%	7%	95%	5%	88%	12%	良好です。組織的、継続的に防災教育を進めています。訓練だけでなく、日頃から身を守る意識を高めていきます。	
22	遠足や運動会などの学校行事は楽しい。	97%	3%	91%	9%	94%	6%	91%	9%	良好です。実施目的や指導事項を明確にし、子どもたちが意欲・関心を持って取り組めるよう進めていきます。	
23	児童会や委員会活動、またはクラブ活動に意欲的に取り組んでいる。	—	—	92%	8%	92%	8%	89%	11%	良好です。児童一人ひとりが役割や責任を自覚し、勤労・奉仕・公共の福祉を考えることができるよう進めていきます。	
24	大人になったときの職業(仕事)について考える機会がある。	—	—	73%	27%	73%	27%	74%	26%	やや課題の残る結果となりました。全学年でキャリア教育に取り組み、進路や夢、将来の職業について主体的に学ぶことができる学習機会を設けます。	

H30.2 実施 茨木市立西河原小学校 学校教育自己診断 保護者様実施結果	実施結果						前年度結果 全学年保護者		
	123年 保護者		456年 保護者		全学年 保護者		肯定 回答 割合	否定 回答 割合	
	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合	肯定的な回答の割合	否定的な回答の割合			
1 学校は教育活動や方針などを学校だよりや学年だより、ホームページ等でわかりやすく伝えている。	90.7%	9.3%	97.8%	2.2%	94.4%	5.6%	90%	10%	前回より4%アップ。よりわかりやすい情報の発信に努めていきたいと思います。ホームページの閲覧について引き続きよろしくお願いたします。
2 学校は保護者・地域の願いに応えようとしている。	88.4%	11.6%	85.9%	14.1%	87.1%	12.9%	86%	14%	情報発信を通じて新しい学習指導要領による学校の取組みなどが保護者・地域に理解されるように努め、願いと取組みがリンクされるように考えていきます。
3 学校は家庭への連絡などをきめ細かく行っている。	87.2%	12.8%	87.0%	13.0%	87.1%	12.9%	82%	18%	前回より5%アップ。業務改善等に配慮しながら、より細やかな電話連絡・家庭訪問等することで改善を図っていきます。
4 学校はいじめの早期発見に関する取組みを行っている。(心のアンケートなど)	70.9%	29.1%	77.2%	22.8%	74.2%	25.8%	70%	30%	子どもたちを取り巻く状況がこの結果に表れていると感じています。いじめについては「どの学校でも、どの子にも起こりえる」ものであることを十分認識し、いじめ防止に取り組んでいきます。年3回のアンケート後やいじめと疑われる事象が生じた場合は組織的な対応を行い、解決に向けて指導してまいります。被害を受けた児童の人権を守り、集団の人権意識を高め、再発防止に努めていきます。その成果として子どもたちや保護者の皆さんにとって「いじめのない学校」と感じてもらえるよう取り組みます。
5 学校はいじめが起きないような取組みを行っている。(特別活動や学級活動、道徳)	73.3%	26.7%	75.0%	25.0%	74.2%	25.8%	—	—	
6 学校は自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	82.6%	17.4%	78.3%	21.7%	80.3%	19.7%	72%	28%	前回より8%アップ。学級集団づくり、総合的な学習の時間や特別の教科道徳などを通じて今後もしっかり取り組んでいきます。
7 学校は命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	84.9%	15.1%	82.6%	17.4%	83.7%	16.3%	80%	20%	前回より4%アップ。人権教育を大切にし、自らの命、他の人の命を大切にできる子どもを育てていきます。同時に学習規律や集団の中でのルールをしっかりと考え、守ることができる子どもを育てよう努めます。
8 学校は子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	79.1%	20.9%	80.4%	19.6%	79.8%	20.2%	71%	29%	前回より9%アップ。人権を尊重した集団づくりの取組みを継続していきます。
9 学校は子どもに様々な困難を乗り越えることができる「生きる力」を育てようとしている。	70.9%	29.1%	75.0%	25.0%	73.0%	27.0%	—	—	日本の教育が目指しているところです。他者との関わりの中で活動したり、学んだり、課題解決したりする機会を意図的に増やしています。今後もしっかり取り組んでいきます。
10 学校は子どもに体力がつくように、季節ごとに取り組んでいる。	89.5%	10.5%	91.2%	8.8%	90.4%	9.6%	—	—	体力を向上させることは本校の大きな課題です。年間を通して学校として、学級として体力向上の取組みが行われるように計画的に取り組んでいきます。ご協力よろしくお願いたします。
11 学校は子どもに読む力を育むため、読書活動や学校図書館の充実に努めている。	90.7%	9.3%	91.3%	8.7%	91.0%	9.0%	—	—	国語の授業での工夫改善、学校図書館の整備、図書委員会の活動を通して、読書への関心意欲を高め「読む力」をしっかりと育んでいきます。
12 学校は保護者が授業を参観する機会を適切に設けている。	93.0%	7.0%	94.6%	5.4%	93.8%	6.2%	92%	8%	適正な回数と機会を維持していきます。
13 学校は子どもが保護者や地域の方々と交流する機会を設けている。	87.2%	12.8%	91.3%	8.7%	89.3%	10.7%	92%	8%	業務改善等しなければならぬ部分もございますが、適正な回数と機会を検討し、交流する機会を設けてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いたします。
14 学習内容について、学年だよりや懇談などによって知ることができる。	95.3%	4.7%	93.5%	6.5%	94.4%	5.6%	92%	8%	家庭学習との連携、推進のために100%目指してしっかり伝えられるよう努めていきます。
15 運動会などの学校行事は、子どもが意欲的に参加できるように工夫されている。	88.4%	11.6%	90.2%	9.8%	89.3%	10.7%	86%	14%	学校行事はできるかぎりすべての子どもたちが意欲的に参加できるように個別の対応を含め、取り組んでいるところです。ご家庭ともしっかり連携していきたいと考えています。よろしくお願いたします。
16 災害時の対応について、児童や保護者にその際の訓練が行われ、周知されている。(児童引き渡し訓練など)	84.9%	15.1%	89.1%	10.9%	87.1%	12.9%	80%	20%	児童引き渡し訓練をはじめ、災害時の対応や訓練についての意義や学習内容の周知について、工夫改善し、家庭とも連携した取組みであることを実感していただけるようにしていきます。
17 学校の施設・設備には満足している。	76.7%	23.3%	78.3%	21.7%	77.5%	22.5%	80%	20%	塗装工事等は終了しましたが、30年を過ぎた校舎などの施設面での老朽化が進んでいる点は否めません。更新可能な備品等についてはできる限り最新のものを用意するなど予算の限り取り組んでいきます。
18 先生は子どもの能力や達成度を適正に評価している。	88.4%	11.6%	87.0%	13.0%	87.6%	12.4%	88%	12%	今年度より評価方法についてお知らせするようになりました。今後も適正な評価を心がけていきます。
19 あゆみには子どもの学力や達成度がわかりやすく書かれている。	76.7%	23.3%	82.6%	17.4%	79.8%	20.2%	79%	21%	あゆみでは伝えきれない情報がありますので、ご家庭ではテストプリントをきっちり保管するなど学力や達成度を普段より把握する必要があることを周知するなど努めていきます。
20 先生は子どものことについての相談に応じてくれる。	88.4%	11.6%	79.3%	20.7%	83.7%	16.3%	88%	12%	組織的な対応ということでは、担任に関わらず相談できていることもありますが、やはり担任を中心とした安心して相談していただける態勢をしっかりと作り、保護者との信頼関係づくりに努めていきます。
21 先生は子どもをよく理解してくれている。	84.9%	15.1%	76.1%	23.9%	81.3%	18.8%	79%	21%	昨年度同様、低学年から丁寧に保護者と教職員の子どもの理解をすすめ、子どもの情報を共有し、課題への見立て、方策などにより連携して取り組むようにしていきます。
22 子どもは授業がわかりやすいと言っている。	88.4%	11.6%	69.6%	30.4%	79.1%	20.9%	80%	20%	引き続き授業の工夫改善に取り組む、子どもたちが意欲的に授業に向かうことができる授業づくりを目指します。
23 子どもは学校へ行くのを楽しんでいる。	89.5%	10.5%	88.0%	12.0%	88.8%	11.2%	84%	16%	前回より5%アップ。学校に行きたいと思っていない子どもたちの声を受け止めるよう努め、改善していきます。
24 あいさつに関して学校での指導が十分されている。	83.7%	16.3%	76.1%	23.9%	82.6%	17.4%	83%	17%	児童への質問「あいさつができる」にはできると97%の児童が回答しています。しかしながら保護者の皆さんが感じておられるように、約15%の子どもたちが挨拶をしない現状があります。学級での指導などを通してなかなか子どもの心を動かし、「おはようございます」と言うことが難しいのです。気持ちのあいさつ(表情や口元)なども行えずに無視していく児童もいます。地域からも厳しい声が届いています。しかし大変うれいことに家庭での指導が有効だと考えてくださる保護者の方々が多く見られました。社会に出た時のことを考えたら、今のうちに必ず身につけなければならないスキルです。ご家庭と連携して挨拶ができる子どもを粘り強く育てていきたいと考えています。よろしくお願いたします。
25 あいさつに関して家庭での指導も有効だと感じている。	91.9%	8.1%	96.7%	3.3%	96.6%	3.4%	—	—	
26 土曜参観、日曜参観をどちらかの曜日に固定することについて支障がない。	74.4%	25.6%	70.7%	29.3%	72.5%	27.5%	—	—	支障があるとお答えいただいたご家庭が30%近くになりましたので、例年通りの開催といたします。
27 運動会を準備などの関係上、土曜日に固定することについて支障がない。	79.1%	20.9%	77.2%	22.8%	78.1%	21.9%	—	—	運動会運営上、日曜開催のデメリット(天候による中止決定や延期、その際生じる準備等)があまりに大きいことが課題となっておりますので、アンケートさせていただきました。検討させていただきます。